

2018年12月期 第2四半期決算短信〔米国基準〕(連結)

2018年8月14日

上場会社名 テックポイント・インク (Techpoint, Inc) 上場取引所 東証マザーズ (外国株)  
 コード番号 6697 URL www.techpoint.co.jp  
 代表者名 (役職名) 最高経営責任者兼取締役社長 (氏名) 小里 文宏  
 問合せ先責任者 (役職名) 株式会社テックポイントジャパン 代表取締役社長 (氏名) 蓬田 宏樹 (TEL : 03-5791-4880)  
 四半期報告書提出予定日 2018年8月14日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料の作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

1. 2018年12月期第2四半期の連結業績 (2018年1月1日~2018年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (単位: 千米ドル (千円)、%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前四半期純利益		当社株主に帰属する 四半期純利益		株式報酬費用控除前の 四半期純利益 (Non-GAAP 指標) (注3)	
	金額	増減率	金額	増減率	金額	増減率	金額	増減率	金額	増減率
2018年12月期 第2四半期	13,523 (1,494,832)	△11.4%	248 (27,414)	△93.3%	472 (52,175)	△87.2%	674 (74,504)	△72.1%	1,068 (118,057)	△58.7%
2017年12月期 第2四半期	15,269 (1,687,835)	11.9%	3,702 (409,219)	46.1%	3,692 (408,114)	45.1%	2,414 (266,844)	41.0%	2,587 (285,967)	41.1%

(注1) 当社の連結財務書類は米ドルで表示されています。本書において円で表示している金額は、便宜上、2018年6月29日現在の株式会社三菱UFJ銀行の対顧客電信直物売買取相場の仲値に基づき1米ドル=110.54円で換算された金額であります。本開示資料において以下同じ。

(注2) 四半期包括利益 2018年12月期第2四半期 674千米ドル (74,504千円) (△72.1%)、2017年12月期第2四半期 2,414千米ドル (266,844千円) (41.0%)。

(注3) 2018年12月期第2四半期累計の6か月間の株式報酬費用は463千米ドル (51,180千円) でした。これを除いた調整後営業利益は711千米ドル (78,594千円)、期間実効税率15%の税効果考慮後の調整後四半期純利益は1,068千米ドル (118,057千円) となります。なお2017年12月期第2四半期累計においては、6か月間の株式報酬費用は289千米ドル (31,946千円) であり、これを除いた調整後営業利益は3,991千米ドル (441,165千円)、期間実効税率40%の税効果考慮後の四半期純利益は2,587千米ドル (285,967千円) でした (Non-GAAP 指標)。

(単位: 米ドル (円))

	基本的1株当たり 当社株主に帰属する四半期純利益	希薄化後1株当たり当社株主に 帰属する四半期純利益
2018年12月期第2四半期	0.04 (4)	0.04 (4)
2017年12月期第2四半期	0.17 (19)	0.16 (18)

(2) 連結財政状態

(単位: %表示を除き、千米ドル (千円))

	総資産	資本合計 (純資産)	株主資本	株主資本比率
2018年12月期第2四半期	28,386 (3,137,788)	26,365 (2,914,387)	26,365 (2,914,387)	92.9%
2017年12月期	26,592 (2,939,480)	24,968 (2,759,963)	24,968 (2,759,963)	93.9%

2. 配当の状況

(単位: 米ドル(円))

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2017年12月期	-	-	-	-	-
2018年12月期	-	-	-	-	-
2018年12月期 (予想)	-	-	-	-	-

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正: 無

3. 2018年12月期の連結業績予想（2018年1月1日～2018年12月31日）

（単位：千米ドル（千円）、％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		税引前四半期純利益		当期純利益	
通期（2018年）予想	35,547 (3,929,365)	14.1%	2,313 (255,679)	△63.5%	2,332 (257,779)	△62.8%	1,746 (193,003)	△53.5%
2018年第3四半期予想	8,500 - 8,750 (939,590 - 967,225)							

	基本的1株当たり 当期純利益	希薄化後1株当たり 当期純利益
通期（2018年）予想	0.10 ドル (11 円)	0.09 ドル (10 円)

（注1） 直前に公表されている業績予想からの修正：無。なお、連結業績予想に関する定性的情報に関しましては、添付資料3ページ目をご参照下さい。

（注2） 2018年12月期の1株当たり当期純利益予想は、基本的／希薄化後発行株式数の予想加重平均株式数を用いて計算しました。

（注3） 当社業績予想は米ドルでおこなっております。

※ 注記事項

（1） 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

（2） 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：無

（3） 会計方針の変更

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：無

（4） 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2018年12月期2Q	16,999,177株	2017年12月期	16,752,171株
② 期末自己株式数	2018年12月期2Q	－株	2017年12月期	－株
③ 期中加重平均株式数（四半期累計）	2018年12月期2Q	16,883,574株	2017年12月期2Q	3,849,578株

※ 本四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象ではありません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本四半期決算短信に含まれる業績予想及びその他の将来予測に関する記述は、現在入手可能であり、かつ当社が合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、さまざまな要因により著しく異なる可能性があります。

○ 添付資料の目次

	頁
<b>1. 当四半期決算に関する定性的情報</b> .....	<b>2</b>
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....	3
<b>2. サマリー情報（その他）に関する事項</b> .....	<b>3</b>
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動.....	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用.....	3
(3) 会計方針の変更.....	3
<b>3. 四半期連結財務諸表及びその他の情報</b> .....	<b>4</b>
(1) 四半期連結貸借対照表.....	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書.....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項.....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

2018年6月30日(連結)に終了した6ヶ月間(以下、「当第2四半期連結累計期間」と表記)及び2017年6月30日(連結)に終了した6ヶ月間(以下、「前年同期」と表記)の比較

#### 売上高

当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期と比較して1.7億ドル(193百万円)または11.4%減少しました。これは主に、製品構成の変化による平均販売価格の20%の減少が、半導体出荷数の11%の増加によって相殺されたことによるものです。この出荷数の増加は、車載カメラシステム市場における、当社のHD-TVI受信用半導体の需要及び、監視カメラ市場における、イメージングナルプロセッサ(ISP)搭載のHD-TVI送信用半導体の需要が、前年同期比で増加したことによるものです。

#### 売上原価

当第2四半期連結累計期間の売上原価は、前年同期と比較して28千ドル(3百万円)または0.4%減少しました。これは主に、製品構成の変化、及び、棚卸資産の在庫評価減の0.1億ドル(14百万円)の減少が、原材料費の増加及び半導体出荷数の11%の増加によって相殺されたもので、売上総利益率にマイナスの影響を及ぼしました。

#### 研究開発費

当第2四半期連結累計期間の研究開発費は、前年同期と比較して、1.1億ドル(125百万円)または42.3%増加しました。これは主に、テーパーアウト費用の0.5億ドル(60百万円)の増加、製品開発に係る設計費用、プロトタイプ制作費用、及びソフトウェア経費の0.3億ドル(29百万円)の増加、並びに業務拡大に伴う18%の人員増による人件費の0.2億ドル(24百万円)の増加によるものです。

#### 販売費及び一般管理費

当第2四半期連結累計期間の販売費及び一般管理費は、前年同期と比較して、0.6億ドル(67百万円)または23.6%増加しました。これは主に、専門家費用の0.2億ドル(23百万円)の増加、業務拡大に伴う14%の人員増による人件費の0.2億ドル(24百万円)の増加及び、株式報酬費用の0.1億ドル(14百万円)の増加によるものです。

#### その他の収益(費用)

当第2四半期連結累計期間のその他の収益は、224千ドル(25百万円)でした。これは主に、2017年9月におけるJDRの新規公開に伴い日本円により受領した手取り金に係る、外国為替取引及び外国為替差益の影響によるものです。

#### 法人税費用

当第2四半期連結累計期間の法人税費用は、前年同期と比較して、1.5億ドル(164百万円)又は115.8%減少しました。これは主に、課税所得の減少、ストック・オプションの行使及び当該株式の売却による税務上のベネフィット、並びに2017年12月の税法改正による法人税の税率の21%への減少によるものです。

#### 当期純利益

前述の結果、当第2四半期連結累計期間の当社グループの当期純利益は、前年同期と比較して、1.7億ドル(192百万円)又は72.1%減少しました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### 資産

##### 流動資産

2018年6月30日現在の流動資産は26.8億ドル(2,965百万円)であり、2017年12月31日に対して1.4億ドル(151百万円)又は5.4%の増加となりました。これは主に、2.3億ドル(250百万円)の現金及び現金同等物の増加が、0.8億ドル(86百万円)の当期棚卸資産の減少に相殺されたことによるものです。当期棚卸資産の減少は、新製品の市場導入による在庫調整によるものです。

##### 非流動資産

2018年6月30日現在の非流動資産は総額1.6億ドル(173百万円)であり、2017年12月31日に対して0.4億ドル(47百万円)又は37.3%の増加となりました。これは主に、繰越控除の増加により繰延税金資産が0.2億ドル(26百万円)増加したこと及びその他の資産が0.1億ドル(13百万円)増加したことによるものです。

## 負債及び株主資本

### 流動負債

2018 年 6 月 30 日現在の流動負債は総額 1.9 百万米ドル (208 百万円) であり、2017 年 12 月 31 日に対して 0.4 百万米ドル (43 百万円) 又は 26.0%の増加となりました。これは主に、発注と支払いの時期のずれにより生じる買掛金 0.3 百万米ドル (36 百万円) の増加によるものです。

### 非流動負債

2018 年 6 月 30 日現在の非流動負債は総額 143 千米ドル (16 百万円) であり、2017 年 12 月 31 日に対して 10 千米ドル (1 百万円) 又は 7.5%の増加となりました。

### 株主資本

2018 年 6 月 30 日現在の株主資本は総額 26.4 百万米ドル (2,914 百万円) であり、2017 年 12 月 31 日に対して 1.4 百万米ドル (154 百万円) 又は 5.6%の増加となりました。これは主に、株式報酬やストック・オプションの行使及び早期行使、ストック・オプションの権利確定により資本剰余金が 0.7 百万米ドル (80 百万円) 増加したこと及び、2018 年第 2 四半期連結累計期間の四半期純利益 0.7 百万米ドル (75 百万円) によるものです。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

2018 年 12 月期の連結業績予想に変更はありませんが、通期の売上高は予想を下回る可能性が高いです。一方、通期の純利益は予想を上回る見込みです。

2018 年第 1 四半期の決算短信で公表したとおり、当社製品を購入している完成品メーカーの多くが、現行世代の圧縮技術である「H.264」を活用した製品群から、次世代圧縮技術である「H.265」対応製品に量産移行するため、DVR (デジタルビデオレコーダー) 製品の在庫調整が進行中です。このため、当第 2 四半期の売上高は対前年同期比 19.5%減の 6.47 百万米ドルにとどまりました。ただし、当第 2 四半期の純利益は 0.2 百万米ドルとなり (調整後純利益は 0.4 百万米ドルの黒字)、また在庫調整は第 3 四半期に向けて終結に向かっているものと当社は認識しております。

2018 年下半期の回復基調に関しましては、第 3 四半期において、売上高が 8.5 百万米ドル～8.75 百万米ドルと、当社過去最高の四半期売上高になると予想しています (従来の当社過去最高は 2017 年第 3 四半期売上高 : 8.1 百万米ドル)。また同第 4 四半期においては、第 3 四半期をさらに上回る売上高になる見込みです。

半導体製品の平均販売価格の低下は、今期末までに一段落する見込みです。車載向け半導体製品の販売は好調であり、売上高全体に占める車載向け半導体製品の割合は今後増加する見込みです。

なお、半導体の新製品開発は現在のところ期初計画通りに進捗しております。このほか、昨今の米中貿易摩擦に関しましては、本書提出日 (2018 年 8 月 14 日) 現在、当社の製品は米国通商代表部が公表した追加関税リストの対象外であり、現在のところ当社の業績への悪影響は発生しておりません。

## 2. サマリー情報 (その他) に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更

該当事項はありません。なお、当社は会計基準更新書第 2014-09 号、「顧客との契約から生じる収益 (Topic 606)」を 2018 年第 1 四半期から修正遡及移行方式に基づいて適用しており、当該会計基準更新書の適用による連結財務書類に重要性のある影響はありませんでした。

3. 四半期連結財務諸表及びその他の情報

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：株式数を除き、千米ドル、千円)

	2018年6月30日現在		2017年12月31日現在	
	千米ドル	千円	千米ドル	千円
<b>資産</b>				
流動資産：				
現金及び現金同等物	23,796	2,630,410	21,536	2,380,589
売掛金	155	17,134	93	10,280
棚卸資産	2,067	228,486	2,847	314,707
前払費用及びその他の流動資産	805	88,984	978	108,109
流動資産合計	26,823	2,965,014	25,454	2,813,685
有形固定資産 (純額)	395	43,663	325	35,926
繰延税金資産	887	98,049	652	72,072
その他の資産	281	31,062	161	17,797
資産合計	28,386	3,137,788	26,592	2,939,480
<b>負債及び株主資本</b>				
流動負債：				
買掛金	1,083	119,715	760	84,011
未払費用	593	65,550	573	63,339
早期行使ストック・オプション関連債務	173	19,123	152	16,802
顧客預り金	29	3,206	6	663
流動負債合計	1,878	207,594	1,491	164,815
その他の長期負債	143	15,807	133	14,702
負債合計	2,021	223,401	1,624	179,517
コミットメント及び偶発債務				
株主資本：				
優先株式、額面価格 0.0001 米ドル (0.01 円)				
授権株式数、2018年6月30日及び2017年12月31日現在、それぞれ 5,000,000 株及び 5,000,000 株				
発行済株式数、2018年6月30日及び2017年12月31日現在、それぞれ 0 株及び 0 株				
普通株式、額面価格 0.0001 米ドル (0.01 円)				
授権株式数、2018年6月30日及び2017年12月31日現在、それぞれ 75,000,000 株及び 75,000,000 株				
発行済株式数、2018年6月30日及び2017年12月31日現在、それぞれ 16,999,177 株及び 16,752,171 株				
資本剰余金	2	221	2	221
利益剰余金	18,303	2,023,214	17,580	1,943,294
株主資本合計	8,060	890,952	7,386	816,448
負債及び株主資本合計	26,365	2,914,387	24,968	2,759,963
負債及び株主資本合計	28,386	3,137,788	26,592	2,939,480

テックポイント・インク (Techpoint, Inc.) (6697) 2018 年 12 月期第 2 四半期決算短信

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

(単位：株式数及び1株当たり金額を除き、千米ドル、千円)

	6月30日に終了の6か月			
	2018年		2017年	
	千米ドル	千円	千米ドル	千円
売上高	13,523	1,494,832	15,269	1,687,835
売上原価	6,293	695,628	6,321	698,723
売上総利益	7,230	799,204	8,948	989,112
営業費用				
研究開発費	3,789	418,836	2,662	294,258
販売費及び一般管理費	3,193	352,954	2,584	285,635
営業費用合計	6,982	771,790	5,246	579,893
営業利益	248	27,414	3,702	409,219
その他の収益 (費用)	224	24,761	△10	△1,105
税引前四半期純利益	472	52,175	3,692	408,114
法人税等	△202	△22,329	1,278	141,270
四半期純利益	674	74,504	2,414	266,844
優先株主に帰属する四半期純利益	—	—	1,777	196,430
普通株主に帰属する四半期純利益	674	74,504	637	70,414
1株当たり四半期純利益 (米ドル (円) )				
基本的	0.04	4	0.17	19
希薄化後	0.04	4	0.16	18
普通株主に帰属する1株当たり四半期純利益 を計算する際の加重平均株式数				
基本的	16,883,574		3,849,578	
希薄化後	18,050,768		4,648,130	
その他の包括利益	—	—	—	—
四半期包括利益	674	74,504	2,414	266,844

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。